

平成26年度第2回櫛引地域地区公民館運営審議会記録（概要）

日時：平成27年3月12日（木）

19:00～20:38

場所：櫛引公民館 会議室

<出席者>

委員： 成田進委員長、齋藤明夫委員、瀬川幸子委員、小松幸樹委員、  
大滝真富委員、三浦智幸委員、齋藤ゆう子委員、今野慎太郎委員、  
佐久間忠勝委員、金内一恵委員、

事務局： 櫛引庁舎総務企画課長（併）社会教育課主幹 菊地ゆかり、  
コミュニティ防災専門員（併）社会教育専門員 大宮将義

<欠席者>

委員： 鈴木康弘委員、難波正喜委員、菅原 勝委員

<公開・非公開> 公開

<傍聴者> なし

<会議内容>

1. 開会

2. 委員長あいさつ

3. 協議

(1) 平成26年度櫛引公民館関係事業報告と平成27年度の計画について

- ・リーダー研修会の対象人数を見ると年々減少している。それだけ少子化が進んでいるということだが、今年度の参加率はどのくらいか。（委員）  
→西小学校校長はじめ各学校の方からリーダー研修会への意義を理解していただき、学校側からも呼びかけていただいたおかげで、今年度は対象人数の8割が参加することとなった。引き続き、子ども会育成会も並行して周知を図っていきたい。（公民館）
- ・出前講座事業は各自治公民館で積極的に利用していると思うが、総会時にメニューを周知できることは可能か。（委員）  
→新年度メニューを作成するにあたり、各課への照会確認作業があることから、どうしても5月以降の周知となってしまう。櫛引庁舎だけでなく、社会

福祉協議会、庄内総合支庁の出前講座も情報提供を行っていくので、そちらも併せて活用していただきたい。(公民館)

- ・子ども達が集まる機会に合わせ、高校生ボランティアを活用してもらっている。今後も引き続き高校生ボランティアの活動を支援していただきたい。(委員)

→親子映写会に合わせて、鶴岡南高等学校山添校の学生が読み聞かせのボランティアに来てくれた。今後も、高校生がボランティアとして関われるように支援していきたい。(公民館)

- ・青年サークルとまちづくり塾が関わりを持てるような仕掛けは考えていないのか。(委員)

→青年ボランティアはクリスマスやスキー場イベントを主に行い、地域密着型である。まちづくり塾も集客力は2000人を超えており他地域から注目されている。それぞれ目的は違うものの地域活性化という視点では同じであることから、今後は接点を探りながら、お互いが刺激し合うような仕掛けを検討していきたい。(公民館)

- ・合併から10年もあり、事業が市全域という方向に向かっている。櫛引独自の事業も大切にしてもらいたい。(委員)

- ・青年サークルのタイムカプセル事業は良かった。(委員)

## (2) その他

特になし

## 4. その他・各団体からの情報提供

- ・平成27年度の市PTA連合会会長は櫛引ブロックから選出となる。(委員)

## 5. 閉会